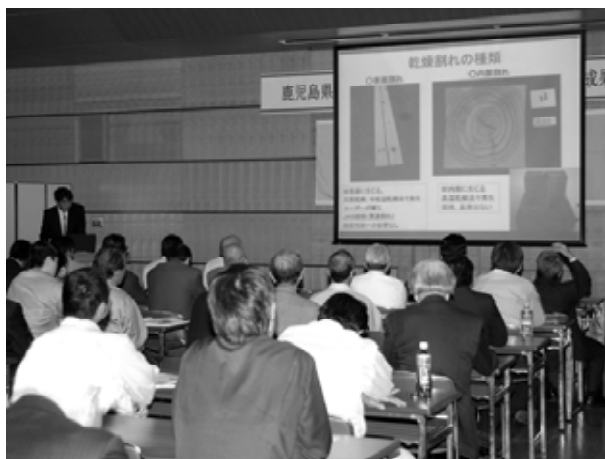


>>>> 創立20周年記念研究成果発表会を開催 <<<<<

11月30日に当センターで創立20周年記念研究成果発表会を開催し、県内企業の方々をはじめ各方面から127名の参加がありました。

今年度の研究成果発表会は、当センターの創立20周年を記念して開催したもので、口頭発表7テーマ、ポスターセッション32テーマの発表を行いました。

口頭発表では、鹿児島県の地域資源を活用した内容で4テーマ、かごしま産業おこしへの挑戦の食・自動車・電子に関連した内容で3テーマの発表を行いました。

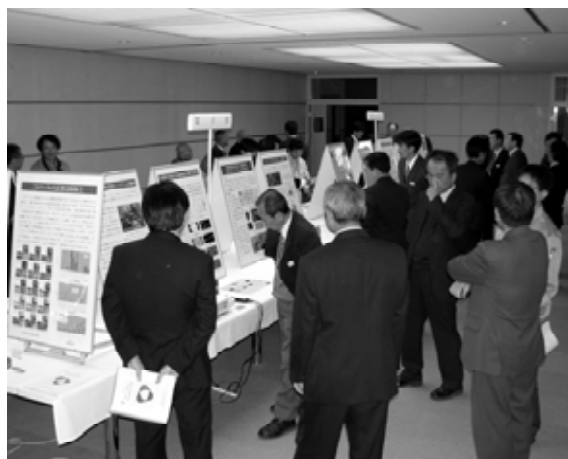


また、ポスターセッションでは、最近の10年間に当センターで取り組んできた主な研究内容と成果を紹介しました。

参加者からは、当センターの研究内容や研究成果の試作品等に関心が寄せられ、活発な質問や意見交換が交わされていました。

なお、発表会のプログラム及び発表の概要については、次のWebサイトに掲載してありますので、ご覧ください。

<http://www.kagoshima-it.go.jp/public/happyo/happyo2007/>



>>>> 九州知的財産活用フォーラム2007に出展 <<<<<

10月24日～26日に福岡市（マリンメッセ福岡）で開催された九州知的財産活用フォーラムで、当センターが開発した特許について、発表と展示を行いました。

今回のフォーラムは、企業や大学等が知的財産を戦略的に活用するための環境を整備し、戦略的な知財の活用等の促進、九州地域内の各研究機関等の技術シーズを広く周知することを目的として九州経済産業局が開催したものです。

当センターからは、「電磁ノイズ対策支援システム」に関する発表と、次の5件のパネル展示を

行いました。

回路実装プリント基板の誤動作箇所検出法及び検出装置

紫イモを原料とする酒類の製造法

長尺竹平板の製造方法

微細空隙を有するファインセラミックス焼結体およびその製造方法

オーステナイト系ステンレス鋼表面の窒化処理方法

参加者からは、製造方法や特徴、研究の進捗や今後の動向について質問がありました。